



今尾の子



令和4年度 えのき通信
海津市立今尾小学校だより
令和4年10月1日

前期から後期へつなぐ



二学期が始まって、約一ヶ月が過ぎましたが、予定通り学校生活では、前期から後期へつなぐ時期にきました。前期の学級・学校での役割も責任をもって果たしていた姿を紹介します。

○全ての委員会の常時活動を確実に果たし、さらによくするように工夫してくれたおかげで、学校生活がスムーズに、いつも通り送ることができた。

○どの掃除場所もきれいになるように掃除をしていた。

○任された当番活動を、自分から進んで行うことができた。

○スポーツフェスタをはじめ、一年生を迎える会やスマイル班での活動に、六年生を中心に、高学年がそれぞれの役割をよく考え、確実に果たしてくれたおかげで、全校がよい動きができています。

前期の財産を後期には、さらによいものにするように、一人一人のそれぞれの目標をもち、必ず、やりぬいてくれると信じています。

『当たり前』を見直してみる時

本年度の半分が過ぎ、四月の頃と比べて、進んでやりぬくの面で成長してきたことを感じさせてくれます。

○爽やかで、相手まで元気にしてくれる「おはようございます」「こんにちは」などの挨拶

○傘立てには、縛られた傘が指定された場所に垂直に立ち、下足箱は踵がそろえられて靴が並ぶ。

○中休みや昼休みには、ほとんどの子が外で、男女仲良く、学級単位や学年に関係なく遊ぶ。

○職員室へ入室する時は、「失礼します」、学年、名前、要件をはきはきと言って、「失礼しました」と爽やかに退室する。

○次の時間の学習道具等の準備を始業前にし、教室以外での学習するときは、教室の机やいすが整頓されている。

○仲間が見える位置に移動したり、向きを変えたりして、仲間の方を見て、話したり、聞いたりする。

○姿勢よく椅子に座り、丁寧に文字や数字等を書く子が増えた。

など、他にも当たり前になっていて、気が付かないことがたくさんありますが、日常生活や学習の中で、継続して行えていること、新たに自分たちで創り出していることが何よりも素晴らしいことです。良い習慣として今尾小の子供は身に付け、成長しています。そこには、子供の小さな勇気を振り絞った心があります。今後も、家庭・地域・学校で意味付け、価値付けをしていきます。

しかし、身体は確実に成長していますが、悪い習慣に、あるいはマンネリ化していることはないでしょうか。また、いつでも、どこでも、(だれにでも)で観ると、個人的にできていない子供がいるのも事実です。

これは、「慣れ」からくる「ダレ」ではないでしょうか。「何も言われないから」とか「他の人に迷惑をかけていないから」などと、自分に甘い気持ちがあるのではないのでしょうか。「こんなことぐらい…」と思っている大きな問題になり、取り返しがつかないことにもなりかねません。悪い習慣が身に付くと、改善するのに簡単にはできません。早いうちに芽を摘み、良い方向に伸ばしてやる必要があります。

家庭でも感染予防・拡大対策の再徹底を



コロナ感染がまだまだ止まらない状況です。これまでも基本的な感染予防対策(正しいマスクの着用・手洗い等)に努めていただきありがとうございます。今後もより一層感染予防の徹底をお願いします。また、感染拡大させないために、本人はもちろんですが、同居のご家族で体調等が普段と少しでも異なる場合には、登校や出勤を自粛し、自宅で休養してください。今後も予定されている授業・行事等を変更せざるをえないことが考えられます。今後、様々な面でのご理解・ご協力をお願いします。

(日比 修二)